

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム あじさい「小杣」

作成日: 令和 5年 4月 11日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6及び7	「身体拘束」や「不適切ケア」や「身体拘束」といったご利用者様へ権利侵害「虐待」が起きない施設づくり。	「不適切ケア」や「身体拘束」を職員個々が理解し、お互いに注意しあげる環境作りを作る。	①あじさい基礎研修「高齢者虐待防止」の全職員受講 ②定期的なユニット会議など会議の場で事例検討 ③身体拘束「0」会議への参加と議事録の回覧 ④虐待聞き取りチェックの定期実施 ⑤カンファレンスによる介護困難事例をなくしていく取り組み	12ヶ月
2	2	現状、地域の方々との設定が無く、孤立した事業所のイメージである。	事業所と地域との関わりとして令和7年度は「認知症カフェ」を開催する予定です。これを通して地域の方々の介護に関する悩みを受けられる場を設けていく。また定期開催を行うことができる体制づくり。	5月中旬に市社協や包括支援センターとの打ち合わせを実施これを受けて今後の流れが決まってくる。現在、あじさい「小杣」ご家族様の当事者としての講演会や認知症の理解として「紙芝居」やヒヤリハット報告書の活用などを考えている。	12ヶ月
3	35	災害時の地域との協力体制が出来ていない。	災害時に地域に頼られ、頼れる施設になる。	①4月の消防点検時に江南消防署の協力を要請する。 ②実施予定日を立て、江南消防署へ再度ご協力の依頼をする。 ③法人の避難訓練を実施する前に「あじさい便り」で避難訓練のお知らせをご家族様へお知らせする。 ③防災訓練時に評議員様に参加いただくことで、施設の実情を知っていただく。 ②地域の防災訓練へ見学でもよいので参加することで、地域の高齢者施設があることを地域の方々に知っていただく。 ③駄菓子屋や施設行事を通して、地域の方々に施設を見ていただく。	12ヶ月
4	2	地域交流室を活かした地域の方々との取り組みが行えていない。	①駄菓子屋の開催と②保育園へ依頼し、来所いただくことで、子供の声でにぎやかな施設づくりを行う。	①-1同法人の他の事業所へ、駄菓子屋開催までの流れを確認する。 ①-2会社へ予算を依頼する。 ①-3自治会回覧板へ開催のお知らせを掲載する。 ①-4ご利用者へ店員をいらし、開店する。 ②-1近隣の保育園へ企画を説明する機会を設けていただき訪問する。 ②-2保育園の協力のもと地域交流スペースに来所いただく。 ②-3クリスマス会などの出し物の練習を地域交流スペースで行っていた。 ②-4ご利用者様に見学交流の機会を設けていただく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。